

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-5

4-Ⅱ-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	見学ルートの作成・発信
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	5 見学モデルルートの構築	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構成資産における適切な見学ルート(モデルコース)の構築により、来訪者への各構成資産の適切な理解を促す。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ①来訪者が理解しやすいストーリー作り ②ストーリーに合わせた見学ルートの整備 ③見学ルートに係る情報提供 を実施する。 また、運用開始後も来訪者ニーズに合わせて更新を検討する。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデルコースの構築を完了させる。また、見学モデルルートを使った現地学習会やガイド研修会を、毎年2回以上実施する。 		
これまでの取組実績	<p>史跡整備基本計画において、見学モデルコースを設定した。</p>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 史跡整備基本計画等に基づき設定したモデルコースにおいて、解説や誘導サイン等の設置を進める。 <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上相川地区内に解説サイン15基、歩行者誘導サイン17基、注意喚起サイン13基を設置した。 ● 見学ルートの環境整備(草刈り・樹木伐採等)を行った。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 見学ルートの整備については、構成資産が広範囲に分布し、見学ルートも長いことから、計画的に整備する必要がある。 ■ 見学ルートをより多くの方に利用してもらうため、各種広報媒体を利用し情報を発信する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 史跡整備基本計画に基づき、見学ルート上への解説・誘導サインの設置を進める。 ■ 見学ルートが安全で分かりやすい状態に保たれるよう、草刈り・樹木伐採などの整備を定期的・計画的に行う。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに進んでいることからB評価とした。 〔 A ・ (B) ・ C 〕</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。